

発行 幌延町農業協同組合

本所 天塩郡幌延町2条北1丁目14番地  
TEL (01632) 5-1211  
FAX (01632) 5-1214  
問寒別支所 天塩郡幌延町字問寒別52番地  
TEL (01632) 6-5111  
FAX (01632) 6-5620

## 第4回理事会開催

第4回理事会を5月29日に開催し、次の事項について審議がなされました。

### 【報告事項】

#### 1. 業務の推進状況報告

- 1) 主要行事の報告
- 2) 組合員の加入・脱退等の状況報告
- 3) 生乳出荷状況報告

### 【附議事項】

1. 令和8年度 ホクレントラック車両増加について
2. 行政庁報告書の提出について
3. ディスクロージャー誌の開示について
4. 各種委員の選任について
5. その他

## 家畜市場日程

7月7日(火) 豊富一般市場 午前10時30分  
7月14日(火) 豊富一般市場 午前10時30分  
7月17日(金) 豊富乳牛市場 午前10時00分  
7月21日(火) 豊富一般市場 午前10時30分  
7月28日(火) 豊富一般市場 午前10時30分

◎モクシは必ず新しいものを使用して下さい。

◎一般・乳牛・育成市場共に申込受付は締切日の午前中までに申込をお願い致します。

◎一般・乳牛・育成・肉牛市場への申込FAXの際には、**必ずホスホマイシン使用の「有・不明・無」を申告**願います。

◎乳牛・育成・和牛市場共に登録書を販売係に渡して下さい。(支所地区は問寒別支所に提出して下さい。)

◎各市場・廃用牛の集荷申込は、**9-4660** 販売係専用FAX番号へお願い致します。

### 乳牛市場 申込締切日

開催日：9月18日(金) 豊富地域家畜市場

締切日：7月3日(金) 午前中まで

\*授精歴を記入してお申込下さい。

\*販売牛の洗浄、削蹄を実行しましょう。

### 育成市場 申込締切日

開催日：10月9日(金) 豊富地域家畜市場

締切日：7月24日(金) 午前中まで

\*ワクチン接種が必要です。

### 和牛市場 申込締切日

開催日：9月10日(木) 南北海道家畜市場

締切日：7月24日(金) 午前中まで

\*申込期日厳守でお願い致します。

## 牛乳出荷状況

令和8年5月分出荷状況は次の通りです。

実績 2,090,760kg

前年 2,239,210kg

前年対比 93.4%

<令和8年4月~令和8年5月>までの全体累計

実績 4,112,490kg

<令和7年4月~令和7年5月>までの全体累計

実績 4,424,220kg

前年対比 93.0%

## 日頃から良質乳の出荷に努めよう

良質乳生産は毎日の正しい搾乳手順と正しい洗浄方法に心掛け、今後とも生菌数1万・体細胞数30万以下の良質乳を出荷する様に努めましょう。

## ☆6月の生菌・体細胞検査の結果☆

生菌数	上旬	中旬	下旬
1.4万以下	39戸	39戸	39戸
1.5~3.9万	3戸	1戸	2戸
4万以上	0戸	2戸	1戸
体細胞数	上旬	中旬	下旬
30.4万以下	30戸	29戸	26戸
30.5~40.4万	4戸	7戸	8戸
40.5~50.9万	3戸	1戸	4戸
51.0~99.9万	5戸	5戸	4戸
100万以上	0戸	0戸	0戸

## ☆5月分乳成分率検査成績表☆

単位：%

項目	幌延	留萌管内	全道
脂肪率	4.159	4.124	4.116
たんぱく質率	3.507	3.476	3.415
無脂固形分率	8.944	8.909	8.875
全固形分率	13.103	13.033	12.991
乳糖・灰分率	5.436	5.432	5.460

## 神社例大祭休業について

7月15日(水)に幌延神社例大祭、30日(木)に問寒別神社例大祭のため下記の通り一部休業しますのでお知らせいたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

	7月15日(水)		7月30日(木)	
	幌延神社例大祭	問寒別神社例大祭	本所	支所
事務所	休業	通常	通常	休業
授精	通常	通常	通常	休業
スタンド	日直	通常	通常	休業
工場	休業	通常	通常	休業
資材	休業	通常	通常	休業
飼料配送	休業	通常	通常	休業
牛乳集荷	通常	通常	通常	通常

## 7月 催事について

マルエス (本所 1階ロビー)



皆様のご来店心よりお待ちしております!

## 幌延町農協青年部



## 幌延小学校 畑作り

5月16日、幌延小学校の敷地の一面に食農教育活動の一環として、畑作りを実施しました。初めに堆肥を撒き、畑を起し、最後に消石灰を散布し、畑を完成させました。

沢山の野菜が収穫できることを期待しています!



## 熱中症対策



家族で声をかけ合い、暑い夏を元気に乗り切ろう!

# サシバエ 対策



酪農場には様々な有害昆虫がいます。中でも生産者を困らせる害虫の一つに「サシバエ」が挙げられます。サシバエは牛に対して不快感やストレスなどを与え、乳量や増体率に悪影響を及ぼします。またサシバエなどの吸血性のハエは、乳房炎や牛白血病などの疾病を媒介し、生産性の低下をもたらします。

## 生態

サシバエは日本全土に生息している吸血性のハエです。気温が上昇する春から秋にかけて発生しやすく、特に晩夏から秋が発生のピークとなります。

針状の口



羽が正三角形

動物の血液を栄養とし雄雌ともに吸血し、家畜の中では特に牛の血を好みます。吸血は主に朝夕の涼しい時間帯に行い、それ以外のほとんどの時間は牛舎周辺の草むらで休息します。

## 牛への被害

吸血により引き起こされる強い痛みは牛にとって大きなストレスとなります。刺されることを防ぐため、牛は身を寄せ合って一カ所に集まります。そのため、送風機等の暑熱対策も効果が軽減されてしまいます。また、サシバエが牛舎にいることで牛は落ち着かなくなり、睡眠障害や飼料摂取量の減少が起きることがあります。これにより乳量・増体重が低下し、生産性が低下します。さらに、牛の疾病には血液を介して感染牛から非感染牛へ伝播するものがあります。サシバエは吸血昆虫の中でも個体数や1日の吸血回数が多く、疾病を伝播するリスクも高くなります。

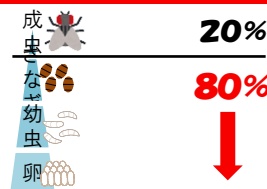


## サシバエが媒介する牛の主な疾病

疾病名	牛伝染性リンパ腫 (EBL)	ランピースキン病 (LSD)
病原体	牛伝染性リンパ腫ウイルス (BLV)	ランピースキン病ウイルス (LSDV)
臨床症状	・元気喪失・眼球突出 ・下痢・削瘦 など	・皮膚の結節や水腫・発熱 ・乳量減少 など
生産性への影響	・乳量減少 ・淘汰による経済損失	・乳量減少・発症牛の生産出荷や移動の自粛 (2025年5月時点)
治療法	なし (生進にわたり持続感染)	なし
予防法	・ワクチンなし ・感染牛は隔離、自主淘汰	・ワクチンあり ・感染牛は隔離、自主淘汰

## 対策

成虫は全体の20%で残りの80%は、さなぎや卵です。そのため、成虫対策だけでは発生サイクルを止めることは難しく、卵・幼虫・さなぎからの総合的防除対策が重要となります。



## 卵・幼虫対策

- 堆肥の発酵熱が50℃以上で、幼虫の致死率が高くなります。適度に切り返しを行いましょう。
- 蓄積された糞や飼料残渣などに産卵します。こまめな除糞、泥ねい化防止、水槽廻りや敷料下層部、処理室は特に清掃をしましょう。※壁際や柱の根本まで行きましょう。
- 幼虫にはIGR剤などの発育を阻害する殺虫剤をバークリーナーに播くことで、発生源である堆肥場で効果を発揮します。また、ハッチ周りの水やエサがこぼれた場所に定期的に散布しましょう。※牛が踏まない壁際に多く生息するため、壁際を念入りに散布しましょう。

## 成虫対策

- ハエ取り用粘着シートを牛舎と外部との境界部分や飼槽付近に設置しましょう。地上高1m以内への設置が効果的です。
- サシバエは畜舎周辺の草むら・草陰で休息をとります。そのため畜舎周辺を除草することで休息地を減らすことができます。
- 成虫には有機リンや合成ピレスロイドと呼ばれる系統の殺虫剤が効果的です。

## 殺虫剤使用の注意

- ※ 殺虫剤使用の際は、牛体散布の可否や休業期間を必ず確認し、薬剤に添付されている用量・用法・使用上の注意を守って使用しましょう。
- ※ 規定より少ない薬剤量の使用はハエに薬剤耐性がつく危険性があるので、規定の使用量を使いましょう。
- ※ 同じ薬剤を長年使い続けると、薬剤耐性がつく可能性があります。数年に1回、薬剤の種類を変えるなどローテーションを検討しましょう。

はえの発生源を減らす環境整備 & ハエのライフサイクル

を絶つための総合駆除

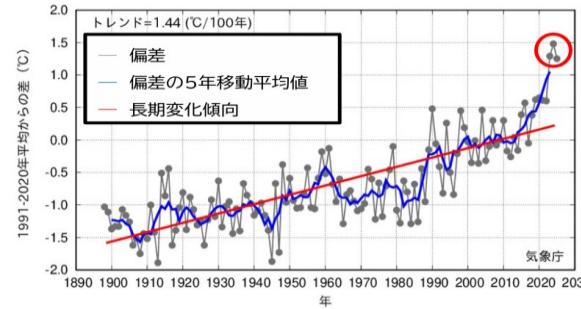
## 夏の農作業事故に

ご注意を!



我が国の気温は年々高くなっています。特に近年は急激に上昇しており、今後も熱中症等の発生リスクは高い状況が続くことが想定されます。

日本の年平均気温偏差 (1898~2025年)



令和6年5月から9月までの発生月の死亡事故は前年より52人増加しており、(うち熱中症は21人) 高温期の死亡事故が全国的に増加しています。



送風と換気

近年、北海道でも猛暑が続く、牛舎内の暑熱対策はますます重要になっています。特に乳牛は暑さに弱く、気温が20~25℃を超える頃から暑熱ストレスの影響が現れ始めます。これにより生産性や健康状態に大きな影響を与えるため、適切な環境管理が欠かせません。

対策の一つとして重要な送風と換気の役割を理解し、効果的なファンの設置・活用方法についてチェックしてみましょう。

## 送風

牛の体表に風を当てることで体温を下げる役割があります。皮膚からの熱放散や呼吸による蒸発を促進し、暑さによるストレスを軽減します。牛に効果を与えるためには、1.5~2.0m/秒以上の送風が必要です。

## 換気

牛舎内の空気を入れ替えることが目的です。熱気や湿気、アンモニア、二酸化炭素などを外に排出し、新鮮な空気を取り込むことで環境を改善します。

夏季(5~9月)における農作業死亡事故の発生状況

	死亡件数(全体)									(参考) 熱中症警戒アラート発表数
	5~9月(A)+(B)		熱中症	熱中症以外		5~9月(B)				
	5~9月(A)	5~9月(B)		高所等からの転落	草刈機	自旋型コンバイン				
令和5年	236	132	37	35	199	97	9	1	7	1,232
令和6年	287	184	59	56	228	128	20	6	12	1,722
増加数	51	52	22	21	29	31	11	5	5	490

これからの時期は暑さにより、判断力の低下、物忘れ、集中力の低下などが引き起こされます。普段の作業でも一瞬の気の緩みが大きな事故に結びついてしまう場合もありますので、日頃から声を掛け合うなど事故防止に努めましょう!

## POINT

- ! ヘルメットとシートベルトの装着
- ! 機械作業を中断するときは必ずエンジン停止
- ! トラクター等を中断するときは駐車ブレーキ
- ! 家を出るときは家族に伝え携帯電話を持ち歩く
- ! 早めの水分・塩分の補給、涼しい場所での休憩

## ファンの角度

種類	特徴
真下向き (吹き下ろし)	障害物があっても牛に風が届きやすいが、換気効果は低い
水平吹き	高所の空気を動かしやすく、換気効率が高い
斜め送風	送風と換気をバランスよく実現でき、汎用性が高い

## ファンの高さ

高すぎる位置(5m以上)に設置すると風速が弱まり、十分な冷却効果が得られない可能性があります。作業性とのバランスを考えながら、適切な高さに設定することが重要です。

## ファンの間隔

ファンの間隔が広すぎると、風が当たる場所と当たらない場所が生まれ、送風ムラが発生します。研究では、5~7m間隔の設置が推奨されています。柱の間隔に合わせるだけでなく、必要に応じて吊り下げ設置などで調整することも有効です。

## 入気口と排気口の確保

換気を機能させるためには、空気の「入口」と「出口」が必要です。適切に配置することで空気の流れが生まれ、牛舎内の熱気や湿度、有害ガスを効率よく排出できます。

※ファンの設置では、角度・高さ・間隔の3点を見直すだけでも大きな改善につながる可能性があります。さらに、障害物の除去や入排気の確保など、牛舎全体の構造を踏まえた対策をしましょう。